

皆さん、こんにちは、わたくしはモンゴルから参りました。作新学院大学の経営研究科 2 年生のヒシグスレン ポロル エルデムと申します。現在、大学と大学の指導教員の推薦のおかげでロータリー米山記念奨学金を頂くことになりまして、宇都宮さつきクラブにお世話になっております。

まずは、モンゴル国について、お話しさせていただきます。皆様のお考えでは大草原で馬に乗っている男性が思い浮かぶでしょうか？時代が変わるに連れてモンゴル国もだんだん変わりつつあります。1990 年頃から民主主義になってから、モンゴル国は経済や他国との連携も徐々に変わってきました。これからも変わって行くだろうと思います。私はモンゴル人として生まれた事を誇りに思っています。歴史的に考えてもモンゴルの姿はやはり大草原で馬に乗っている男性のイメージだと思っています。

次は、日本について留学生として感じていることをお話しさせていただきます。私は小学生の頃に父親の友人からけん玉と折り紙をお土産にいただき、すごく感動しました。その時から日本という国に興味が深くなり始めました。私はまた、日本の文化と習慣のみならず技術開発にも感動しました。例えば、ロボットと聞いて感動しませんか？そんな魅力的な国に留学生として滞在してから 3 年が経っています。そのうちに色々な事を体験したり、感じたりしています。凄く嬉しいことは、世界的に価値があるロータリーアンの方々とお目にかかることができ、運命の至りと感じております。

次に、自分の学習についてお話しさせていただきます。3 年前に茨城県取手市の日本語学校で 1 年半勉強して卒業しました。そして、作新学院大学の経営学研究科に進学しました。作新学院大学を見学する時に、ほっとしていた感情を感じました。雰囲気は凄く綺麗と感じていました。今も作新学院大学に進学して良かったと思います。現在は、モンゴルの国営企業から民営化への変動について、研究し始めました。日本もそういう時期がありました。この前、人的資源管理に関する情報や資料を読んでいました。人的資源管理に関するテーマでしたが、変わったばかりなので、詳しいことを次から書いていくつもりです。これからはまず、修士論文を書くことに集中しようと思います。次に、私は日本人の優しさに感動しました。私たちはたった一言で人生を変える力を持っていると思います。“情けは人の為ならず”ということわざを聞いたことがありますか？ 人に親切することは、その人の為になるだけでなく、巡り巡っていつかは自分にもよいことがあるということとの意味です。ですから、相手に優しくすることは大事だと思います。私はモンゴルに帰国し、企業を起こし、ロータリーアンになりたいと考えていましたが、この夢が叶うまでには、相手に優しくし、一言でも人を支えて行こうと思いました。重ねて、皆様に感謝をして、スピーチを終わりたいと思います。

作新学院大学 経営学研究科
宇都宮さつきRC 児玉 博敏
ヒシグスレン ボロル エルデム